令和６（2024）年２月７日
地域の会定例会資料

# 前 回 定 例 会 以 降 の 動 き

柏崎市危機管理部 防災・原子力課

## １　安全協定に基づく状況確認【１月１２日】

新潟県、刈羽村とともに、発電所の月例の状況確認を実施しました。

〔主な確認内容〕

・７号機タービン建屋シャッター制御盤の焦げ跡について原因の説明を受けるとともに、現場確認を行いました。

・溢水した使用済燃料プール水の対応（管理区域内における漏えい水の処理）について説明を受けました。

## ２　柏崎刈羽原子力発電所　原子力規制庁による追加検査結果等に関する住民説明会【１月２２日】

核物質防護に係る追加検査及び東京電力ホールディングス株式会社に対する原子炉設置者としての適格性判断の再確認の結果を原子力規制庁が市民を対象に説明する住民説明会を、柏崎市主催、新潟県後援で柏崎市産業文化会館を会場に開催しました。市民１０６人と報道各社が来場し、規制庁の説明と質疑応答が行われました。

## ３　新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会（令和５年度第３回）【１月２９日】

次の項目について議論等が行われました。

・原子力規制庁による追加検査、適格性判断の再確認についての説明及び質疑

・能登半島地震後の発電所の状況についての報告

## ４　市町村による原子力安全対策に関する研究会　実務担当者会議【２月６日】

県内市町村の原子力防災担当職員が一堂に会し、以下のテーマについて各担当者から説明を受け、質疑を行いました。

・原子力発電所連絡会（東京電力ホールディングス株式会社）

・新潟県の原子力安全対策について（新潟県）

・国の原子力安全対策について（内閣府）

・柏崎刈羽原子力発電所に関する原子力規制の現状について（原子力規制庁）

５　その他

２月２日：報道発表「原子力災害を想定した冬季訓練を実施」

２月５日：全戸配布「原子力防災及びエネルギー政策に関する住民説明会のお知らせ」

全戸配布「災害時の避難行動を再確認しましょう　津波などの自然災害と原子力の複合災害時の避難行動」

以上

令和６（２０２４）年２月７日
柏崎市危機管理部防災・原子力課

# 委員ご質問への回答

＜竹内委員＞

**【質問１－③：新潟県・柏崎市・刈羽村】**
新潟県・柏崎市・刈羽村が、能登半島地震後「東京電力株式会社柏崎刈羽原子力発電所周辺地域の安全確保に関する協定書」に基づく立入調査等（１０条）・状況確認（１１条）をいつどのように実施し、どんな結果だったのかを教えてください。

**【回答】**
東京電力から、能登半島地震発生後に行った点検で発電所の設備に異常は確認されず、使用済燃料プールからの溢水があったこと、管理区域外への漏えいはなかったことの報告を受けました。

１月１２日、新潟県、刈羽村とともに状況確認を実施し、溢水した使用済燃料プール水の対応（管理区域内における漏えい水の処理）について説明を受け、適切に処理されていることを確認しました。

# 原子力災害を想定した冬季訓練を実施

新潟県および柏崎市による原子力災害を想定した冬季訓練（住民避難訓練）を次のとおり実施します。

これは、冬季の原子力災害時における対応力の向上を図るため、令和 5 年度新潟県原子力防災訓練の個別訓練として行うものです。この訓練の模様を、柏崎市長が視察します。

取材をご希望の方は、留意事項をご確認ください。

1　訓練実施日時

令和 6（2024）年 2 月 12 日（月曜日・振替休日）午前 9 時 30 分～11 時 30 分

2　訓練会場

妙法寺ふれあいセンター（西山町妙法寺 1487 番地）

3　訓練内容

地震に伴う市道の寸断などによる地域の孤立を想定した、施設敷地緊急事態における在宅の要配慮者の冬季避難訓練

⑴　陸上自衛隊の高機動車や福祉車両による住民避難

避難対象：車椅子やストレッチャーを要する在宅の要配慮者

⑵　陸上自衛隊の高機動車やバスによる住民避難

避難対象：避難に通常以上の時間がかかる要配慮者

4　取材に当たっての留意事項

⑴　本日（2 月 2 日）付で新潟県防災局原子力安全対策課が発表した新潟県報道資料に記載の取材要領（別紙）に従って取材を行ってください。

⑵　会場では、現地係員の指示に従ってください。

問い合わせ先　柏崎市危機管理部防災・原子力課（吉原）TEL：0257-21-2323　FAX：0257-21-5980

# 原子力防災及びエネルギー政策に関する住民説明会のお知らせ

**入場無料**
**事前申込不要**

万が一の原子力災害に備えた原子力防災の取組、エネルギー政策・原子力政策などについて、国の関係機関が柏崎市民の皆様へ説明します。

## 開催日時・会場

**2/14㈬午後6時30分～9時**
（午後6時開場）

**柏崎市産業文化会館　3階大ホール**
（柏崎市駅前二丁目2-45）

来場者席数：200席

## 説明内容

- **地域における原子力防災の取組と国の支援体制について（内閣府）**
- **国のエネルギー政策について（資源エネルギー庁）**

※　市内に在住する方、市内に通勤又は通学されている方を対象とさせていただきます。
※　席数が限られておりますので、会場に入れない場合はご容赦ください。
※　説明会の進行を妨げる行為があった場合には、ご退場いただきます。


主催：柏崎市

お問い合わせ　柏崎市　防災・原子力課　原子力安全係
TEL:0257-21-2323　FAX:0257-21-5980
mail:bosai-atom@city.kashiwazaki.lg.jp

# 災害時の避難行動を再確認しましょう

## 津波などの自然災害と原子力災害の複合災害時の避難行動

令和６（2024）年２月
柏崎市危機管理部　防災・原子力課
☎21-2316　または　21-2323

１月１日に発生した令和６年能登半島地震では、柏崎市においても震度５強を観測するとともに市内でも津波を観測しました。

現在も余震が続いていることから、<u>津波からの避難と原子力災害との複合災害時の基本的な避難行動について、</u>市民の皆様にお知らせいたします。

詳しい内容は、各ご家庭に配布している防災ガイドブック自然災害編および原子力災害編をご覧ください。

原子力規制委員会　初代委員長

## 田中（たなか）　俊一（しゅんいち）　先生の講演会を開催します

田中先生は、平成23（2011）年の東京電力福島第一原子力発電所事故後に発足した原子力規制委員会の初代委員長として、原子力災害を二度と起こさないために原子力発電所の安全規制に取り組まれたほか、今も福島県飯舘村で除染や復興にご尽力されております。そのような田中先生を迎えて、自然災害と原子力災害が同時に行ったときの避難の在り方に関する講演会を企画中です。

<u>講演会の詳細が決まり次第、お知らせいたします。</u>

# 津波災害から命を守る

## 津波警報・注意報の種類　津波の発生が予想される場合、気象庁から発表

危険度　低 ← → 高

| | | 津波注意報 | 津波警報 | 大津波警報【特別警報】 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 津波の高さ | 数値（高さ予想） | 1m（0.2～1m） | 3m（1～3m） | 5m（3～5m） | 10m（5～10m） | 10m超（10m～） |
| | | ― | 高い | 巨大 | | |
| 取るべき行動 | 海岸堤防より海側の地域 | 海の中にいる人は、ただちに海から上がり海岸から離れる その後、近くの避難場所や高台に避難する | | | | |
| | 浸水が想定される地域（津波ハザードマップで着色されている地域） | 念のため、浸水の想定区域から離れる | ただちに近くの避難場所や高台に避難する　ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難する | | | |
| | 沿岸地域（※） | 海や川に近づかない いつでも逃げられる態勢で自宅待機 | ただちに近くの避難場所や高台に避難する | | | |

（※）柏崎市では海岸に接する地区コミュニティになります。

**※津波は徒歩での避難が基本です**

地割れ、電柱、ブロック塀など周囲の状況に注意して高台や安全な場所へ移動しましょう

## ⚠ 津波の避難時に注意すべきこと ⚠

### ⚠ すぐに高台まで避難する

より高いところへ避難しましょう。

### ⚠ 車による避難は原則禁止

渋滞が起こると避難に時間がかかります。

### ⚠ 海や川に近づかない

津波は河口から川をさかのぼり、堤防を越えてくる恐れがあります。

### ⚠ 避難したら絶対戻らない

津波は 1 回だけではなく第２波、第３波と繰り返し襲ってくるため安全な場所に留まることが大切です。

### ⚠ 岩場や堤防など硬いものから離れる

岩やコンクリートに衝突し、気絶したり、負傷し水死するケースがあります。

# 令和６年能登半島地震×柏崎市に津波警報

## 津波避難における市民のみなさまからの質問

**Q1. 避難指示の対象地区は？**

A1. 今回の災害では、沿岸部のコミュニティ地区※1に避難指示を発令しました。
海岸付近にいる方や浸水想定区域にお住まいの方は直ちに高台避難が必要です。

※1 米山、鯨波、大洲、中央、松波、荒浜、高浜、西山（旧石地、旧大田）地区

**Q2. 開いていない避難所もあったけど、どこに避難できるの？**

A2. 市では優先開設避難所（小・中学校、コミュニティセンター）を開設します。
それ以外の指定避難所は、長期的な避難生活時の活用を基本としているため、
発災直後は屋外避難場所としてご利用ください。

補足：**米山コミセン、鯨波コミセンは、津波災害時は開設しない**ため、より高台へ避難してください。
避難所の開設状況について、より分かりやすく広報していきたいと考えております。

**Q3. 柏崎市にはどれくらいの津波がくるの？**

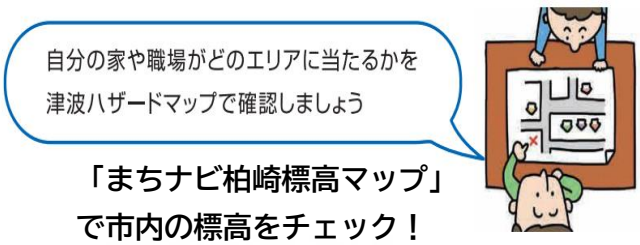
A3. 柏崎市で最も高い津波は、米山地区笠島で 7.4mを想定しております。津波ハザードマップの浸水想定区域を参考に、危険な場所と安全な場所を確認してください。

津波ハザードマップ：新潟県の浸水想定をもとに、最大の津波による被害を図示したもの

参考：1/1(月)16：12 津波警報発表　　16：36 市内鯨波にて 0.4mを観測

## 地震や津波へ日ごろから備えよう　命を守るためにご家庭でできること

- ☐ 飲料水、食料、薬、懐中電灯など、避難に必要なものを入れた持ち出し用リュックを用意する
- ☐ 家族や親せきで、いざという時に避難する場所や連絡手段を確認する
- ☐ 家や小屋、家の周りのブロック塀など、危険な場所がないか点検・補修をする
- ☐ 町内会や地区の訓練に積極的に参加する
- ☐ 地震が起きたら、机などの下に入って身を守る　※園児や児童の訓練が大切です




「まちナビ柏崎標高マップ」
で市内の標高をチェック！

「防災ガイドブック
自然災害編」で災害時の
避難行動をチェック！

ホームページからも閲覧できます

# 【複合災害】自然災害と原子力災害が同時に発生した時の対応

## まずは自身の安全の確保を!!

　自然災害と原子力災害が同時に発生したときは、命の危険が高い自然災害の避難行動を優先します。

　原子力災害による避難行動は、安全が確保されたことを確認した後に市から防災行政無線などでお知らせします。

＜複合災害への対応＞

### 地震との複合災害

**地震に対する避難行動を優先**

家屋や構造物の倒壊など、人命のリスクが高い場合は、地震に対する避難行動を優先します。家の中に留まることが困難な場合は、市が指定する避難所へ避難します。その後、原子力災害の避難指示が出た場合は、余震の影響・避難手段の確保状況を考慮しつつ避難先自治体に避難します。

### 津波との複合災害

**津波に対する避難行動を優先**

津波警報の発表や津波に関わる避難指示の発令など、人命のリスクが高い場合は、津波に対する避難行動を優先します。住民は、市が指定する津波避難場所へ避難します。原子力災害の避難指示が出た場合は、原子力災害に対する避難行動よりも、津波に対する避難行動を優先し、津波に対する安全が確保されてから原子力災害の避難行動を行います。

### 暴風雪との複合災害

**天候が回復してから避難先自治体に避難**

雪を伴う強風による視界不良や吹きだまりの発生などにより避難中の事故のリスクがあるため、自宅などで屋内退避を行います。
天候が回復し、安全が確保された後、避難指示が出てから避難先自治体に避難します。

### 豪雨・土砂災害との複合災害

**自然災害に対する避難行動を優先**

自然災害の方が人命のリスクが高い場合は、自然災害に対する避難行動を優先します。